

生野鉱山の近代化と共に
生野の発展に力を尽くした
浅田家と吉川家の旧邸。

旧浅田邸は昭和7年(1932)に建てられた浅田養蔵の旧邸。浅田家は、江戸時代から代々続いた地役人で、明治時代には生野鉱山とともに、日本の近代化に活躍しました。特に、浅田貞次郎は、鉱山民営化の御下賜金の交渉や播但鉄道の開設などに尽力し、生野銀行の初代頭取も務めました。養蔵は貞次郎の三男で、町議などを務め、父・貞次郎の志を継ぎ、生野の発展に力を注ぎました。

旧吉川邸は、郷宿・井筒屋の六代目の当主であった吉川増太郎が明治時代の中期に建てた隠居部屋と伝えられています。吉川家の本家住宅は、この建物の向かいにある「生野まちづくり工房『井筒屋』」です。

これら2棟の旧邸が、鉱山町の面影を残す生野の町並みに甦り、平成22年9月、口銀谷銀山町ミュージアムセンターとして再生しました。



- ▲ Kuchiganaya
- ▲ Ginzan Town
- ▲ Museum center



◎交通アクセス

[車] 姫路から約1時間、京阪神から約2時間、福知山・綾部から約1時間(播但連絡道路経由)

[鉄道] 姫路から約1時間、京阪神から約2時間15分、福知山から約1時間15分(JR播但線生野駅下車、徒歩約15分)



〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷619番2
Telephone & Facsimile 079-670-5006

◎入館無料 ◎開館時間/午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分迄)

◎休館日/月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

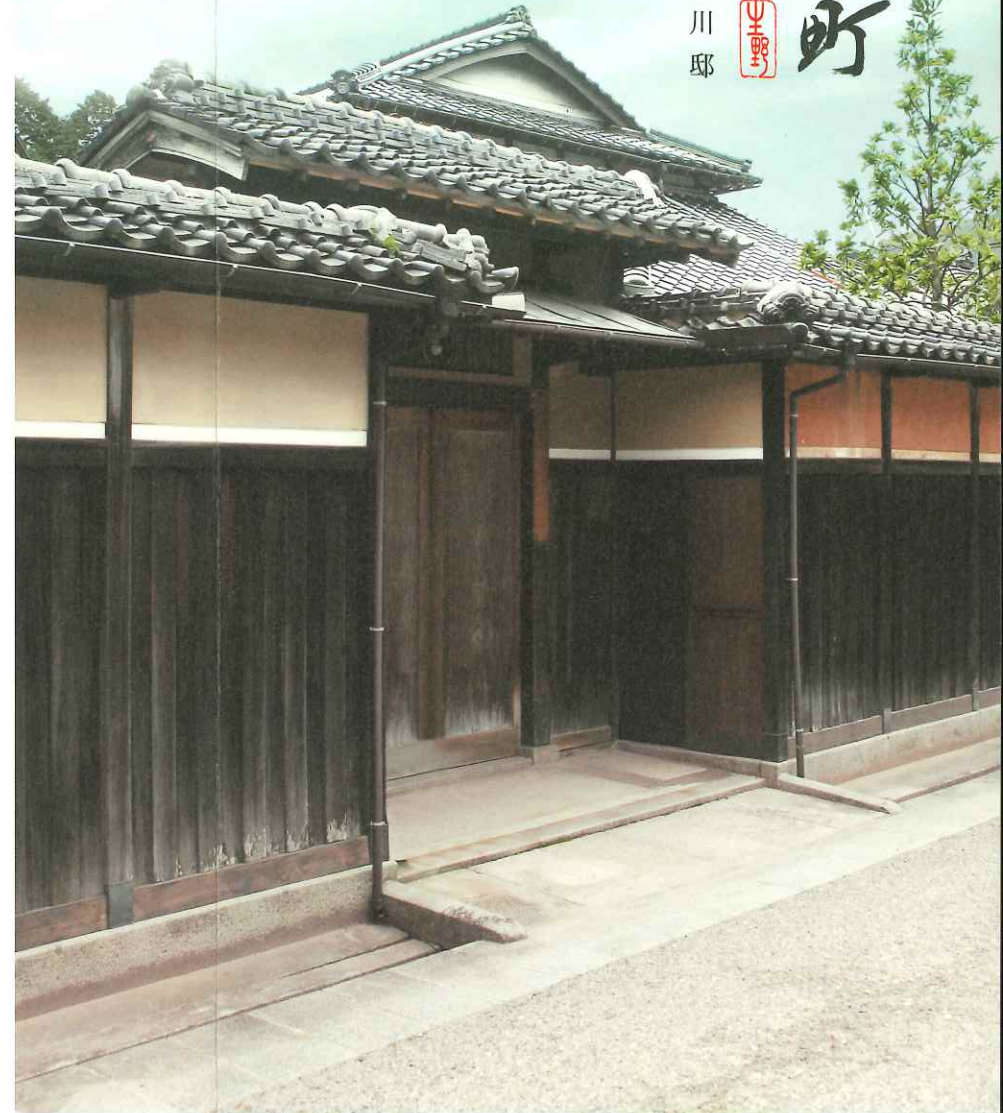
兵庫県朝来市

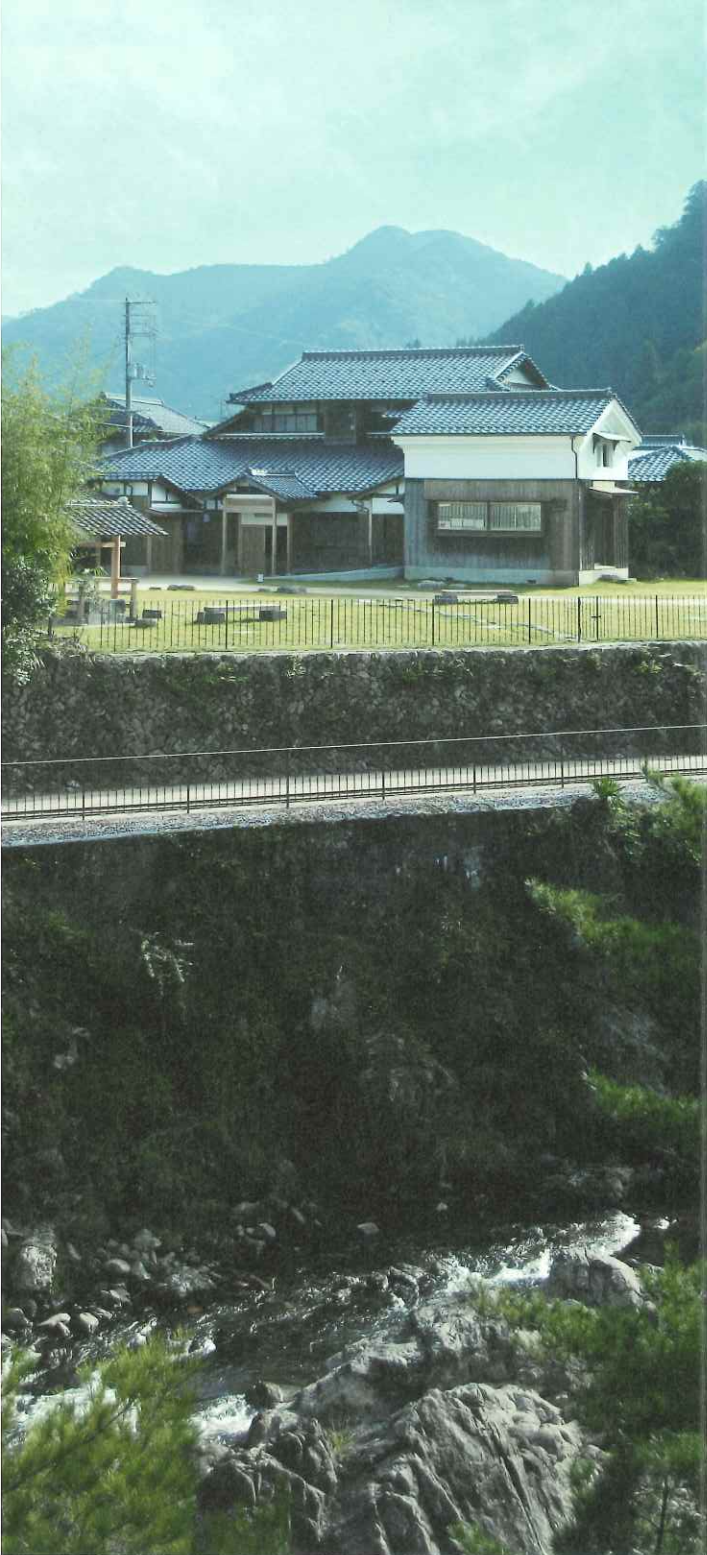
口銀谷
Kuchiganaya
Ginzan Town
Museum center

ミュージアムセンター

銀山町

旧浅田邸・旧吉川邸





本館／和室



本館／廊下(上)・離れ和室(下)



本館(旧浅田邸)は、木造2階建ての風格のある建物。

ゆるやかな弧を描く入母屋屋根、玄関屋根に付けられた懸魚、
玄関の式台、三角屋根にスクラッチタイル外壁の洋館など、
生野に残る民家としては、珍しい様式が施されています。

別館(旧吉川邸)は、つし2階の建物。切妻屋根には生野瓦。
母屋の袖壁や居間にある箱階段などが特徴です。

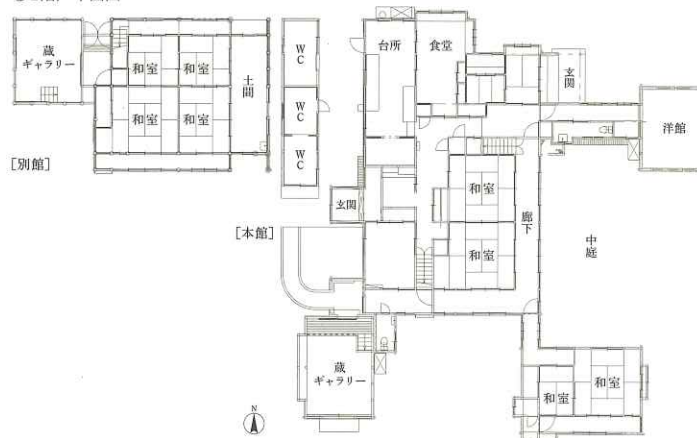


本館／洋館



別館／蔵ギャラリー

◎1階／平面図



蔵
| ギャラリー |

口銀谷銀山町ミュージアムセンターは
旧邸を活かした人と文化の交流施設です。
本館1階は、手づくりのもてなしカフェ。
ゆっくりと時間の流れる佇まいのなかで
町並み散策や歴史探訪のひとつを
のんびりとお過ごしください。
蔵では、ギャラリー展示もあります。
また、別館はレンタルスペースとして
会合や催し物の開催などに
広くご利用いただけます。

蔵ギャラリー(別館・上/本館・下)

